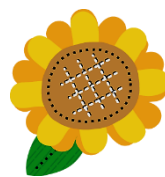


芳田の里ふれあい館だより

2026年

みんなで作る



8月号

心豊かな

芳田の里

第570号

西脇市立芳田の里ふれあい館

〒677-0065 西脇市岡崎町 172-28 ☎(0795)27-0658
メールアドレス houta-fureai@city.nishiwaki.lg.jp

『芳田地区人権学習推進委員会』

7月16日(木)、芳田の里ふれあい館において、芳田地区人権学習推進委員会の皆さんとともに人権研修会が開催されました。今回は、“社会におけるひきこもりと人権～誰もが支え合える社会の実現をめざして～”をテーマとした啓発DVD『見上げれば』を視聴しました。

- ひきこもりとは、様々な要因の結果として、就学や就労、交遊などの社会的参加を避けて、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態のこと。(他者と交わらない形での外出をしている場合も含む)
- 15～64歳のひきこもり状態にある人は全国で146万人(概ね50人に1人)いると推測されます。

ひきこもりの背景や状態は人それぞれですが、長期化すると社会や人に対する恐怖感が強まり、本人や家族の人生に深刻な影響を与えます。さらに、地域社会との関わりが乏しく存在が見えづらいため、家族だけで悩みを抱え込む現実があります。できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性や、信頼できる他者とのつながり、寄り添ってくれる人のいる「居場所」を増やすことが回復のきっかけにつながっていきます。

ひきこもりは、誰にでも起こりうることです。本人や家族だけの問題というような誤解や偏見によって、ひきこもりの状態にある方やその家族が孤立してしまわないように、どのような状況の人にも、寄り添い合い、誰もが生きやすい社会についてみなさんも一緒に考えてみませんか。

“夏休みは芳田の里ふれあい館の会議室を開放します！”

夏休みは芳田の里ふれあい館で過ごしませんか。芳田の里ふれあい館では、夏休み期間中に会議室を開放します。静かで快適な環境の中で、宿題や自主学習などに学習スペースとしてお気軽にご利用ください。

【開 放 日】 8月3日(月)から8月28日(金)まで
(土・日・祝日を除く)

【開放時間】 午前9時～午後4時まで



※各自、水筒とタオルをご持参ください。



「言葉の力は不思議な力」

隣保館上野会館

文芸教室 阿江 誠

「言葉の力」は不思議です。落ち込んでいるときにかけてもらった励ましの一言や本の一文、ふと聴いた歌の歌詞で気持ちが軽くなったり気が晴れたりした経験はどなたもお持ちでしょう。逆に触れてほしくないことやハラスメントの言葉などは、長い時間、心に重くのしかかります。

また、同じ言葉でも、いつ、どこで、だれに、どんな場面で言われるかで感じ方が変わってきます。私も辛いときにたやすく「あなたの気持ちはよくわかる」などと言われると、「ありがとう」と答えながらも「そんな簡単に人の気持ちがわかるわけがないだろう」と素直になれない自分がいます。

そして、受け取る人の状況によっても変わります。障害のある人に「たいへんなのにすごいね」や外国にルーツがある人だとわかると「日本語がお上手ですね」というような一見悪気のない言葉でも、ガラスの破片のように積もっていくと大きな痛みになることがあります。これはマイクロアグレッションと呼ばれます。また、学校になじめず休んでいる子どもや家に引きこもっている人に「がんばれ！がんばれ！」という言葉がけは、「自分なりにはがんばっているのに」「がんばれないから家にいるのに」と思っている人には、かえって落ち込むことになります。

さらに、もっと不思議なのは、絶望のどん底にいる人には勇気づける言葉より、絶望的な言葉の方が救いになることがあることです。病院で長期入院を言い渡された若き日の頭木弘樹さんは、元気な人から「明けない夜はない」と言われて、余計に絶望を感じたといいます。けれど、この言葉の出典はシェークスピアの「マクベス」で原文を直訳すると「一度も昼を見つけられない夜は長い」となります。だから松岡和子さんの「明けない夜は長い」と訳されている本を読んで、まさに今の自分のことだと思えて心が軽くなったと「絶望読書」「絶望名言」の中に書かれています。励ましの言葉に救われたり、逆に絶望の言葉が救いになったりする。不思議ですね。

日本には古くから言葉には霊力が宿るという「言霊信仰」があり、「祝い」にも「呪い」にも言葉の力を使ってきました。結婚式では「割れる」という忌み言葉は使わず「数が増えた」と表現します。また、イカを干した「するめ」を「あたりめ」と水辺に生えている「葦(あし)」を「葦(よし)」と言い換えたりします。

そんな不思議な「言葉の力」は大切に丁寧に相手のためにも自分のためにも使いたいものです。最後に言葉遣いの達人俵万智さんの本「生きる言葉」の中にある短歌で締めくくります。

「つかうほど増えていくもの かけるほど子が育つもの 答えは言葉」



『人権文化をすすめる市民運動』推進強調月間

西脇市では、毎年8月を「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間としています。今年も、“咲かそう！人権文化の花を西脇の地に”をスローガンに、各地区で講演会を開催します。芳田地区は重春・芳田の2地区合同講演会を茜が丘複合施設Miraieで開催します。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

【令和8年度強調月間講演会日程】

地 域	期 日	場 所	演題・講師(敬称略)
黒田庄	3日(月) 19:00～	黒っこプラザ (オンライン配信)	『私の歩む道』 ～アイヌの文化と現代を生きる思い～ 関根 摩耶 さん (合同会社 katak 代表)
重 春 芳 田	4日(火) 19:00～	茜が丘複合 施設Miraie (オンライン配信)	『あきらめない心』 ～過去を変えずに未来を変えろ！～ ちゃんへん. さん (在日三世パフォーマー)
津 万	6日(木) 19:00～	大野隣保館	『日本とチベット』 ～異文化を超えて～ バイマーヤンジン さん (チベット声楽家)
比 延	7日(金) 19:00～	鹿野町公民館	『インターネットと人とのかわり』 ～突然、僕は殺人犯にされた～ スマイリーキクチ さん (インターネット・ヒューマンライツ協会代表)
野 村	8日(土) 14:00～	茜が丘複合 施設Miraie (オンライン配信)	『多様な住民とのご近所付き合い』 ～小さな気づきから始める多文化共生～ 吉富 志津代 さん (武庫川女子大学心理・社会福祉学部教授)
日 野	19日(水) 19:00～	サンパル日野 (オンライン配信)	『防災×音楽×人』 ～みんなで奏でる未来～ 石田 裕之 さん (シンガーソングライター・防災士)
西 脇	26日(水) 19:30～	西脇区会館 (オンライン配信)	『夢に向かって』 ～ゴールボールで夢に挑戦～ 安達 阿記子 さん (パラアスリート・ゴールボール金メダリスト)

■オンライン配信は、リアルタイム配信とオンデマンド配信(8/31まで)を選択できます。
詳しくは講演会チラシをご覧ください。

あきらめない心

～過去を変えずに未来を変えろ!～

西脇市では、8月を「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間と定め、さまざまな活動を展開しています。今年も「咲かそう!人権文化の花を西脇の地に」をスローガンに、小中学生による人権作文朗読と講演会を開催します。

2026 年

8月4日(火)

19:00～21:00(開場 18:30)

西脇市茜が丘複合施設

Miraie 多目的ホール

☐ 小中学生による人権作文朗読

☐ 講演会

講師 **ちゃんへん. さん**

在日三世の世界的パフォーマー



【講師プロフィール】

1985年京都府宇治市生まれ。

中学2年生の時にパフォーマーを志し、全て独学で芸や技を学び、中学3年生ではアメリカのパフォーマンスコンテストでアジア人初の金メダルを受賞する。2年後の2002年、最年少17歳でパフォーマンスのワールドカップに出場し、初出場で1位を獲得。

高校卒業後は、海外で本格的にプロパフォーマーとして活動。2010年にオーストラリアのメルボルンで行われた第50回ムーンバフェスティバルにて、ベストパフォーマーアワードを受賞。

2020年には、自身の体験を綴った著書『ぼくは挑戦人』が発刊され話題となる。

現在は『あきらめない心』をテーマに、日本語ラップと世界最高峰のパフォーマンスを武器に、心に響くメッセージを放ち、幅広く活動している。

入場無料

手話通訳・要約筆記

オンライン配信での視聴を希望される方は、二次元コードから申込フォームにアクセスし、必要事項を記入の上、お申込みください。



駐車スペースに限りがあります。相乗りでのご来場にご協力をお願いします。

主催：西脇市 西脇市教育委員会 西脇市人権教育協議会

共催：重春地区人権教育協議会 協力：芳田地区人権学習推進委員会

8月28日(金)~9月3日(木)は

全国一斉「こどもの人権相談」強化週間

人権擁護委員と法務局職員が子どもを巡るさまざまな人権問題(いじめや体罰、児童虐待など)について、電話で相談に応じます(秘密厳守)。

■と き 8月28日(金)~9月3日(木)
午前8時30分~午後7時
(土・日は午前10時~午後5時)

■相談窓口 0120-007-110

■問 合 せ 神戸地方法務局(☎078-392-1821)



【芳田駐在所だより】 ~熱中症対策~

農作業等の際、熱中症に注意！

《熱中症対策》

○体温上昇を防ぐ

- ・ファン付きウェア、冷却ベスト着用

○休憩方法の改善

- ・日陰での休憩で、熱中症リスクを軽減
- ・こまめな水分補給、塩分補給をする

○何かあったときに備える

- ・救急セットを準備
- ・位置情報共有アプリ等で位置情報を家族で共有する

《熱中症の主な症状》

- ・めまい、立ちくらみ
- ・手足がつる
- ・頭痛、吐き気
- ・倦怠感、虚脱感
- ・集中力判断力の低下

《熱中症かと思ったときの応急処置》

躊躇しないで、救急車を呼ぶ

- 涼しい環境へ避難しましょう。
- 水をかけたりして体を冷やす。
- 水分、塩分を補給しましょう。



8月の行事、講座予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 和装
2	3	4 3B体操 子ども工作 (粘土) 重春・芳田地区 月間講演	5 生活相談 子ども工作 (実験) ヨガ	6 	7	8
9	10	11 山の日	12 生活相談	13	14	15 和装
16	17 すくすく広場	18 料理 3B体操 みんなで楽しく歌う教室	19 生活相談 ヨガ 茶道 絵手紙	20 和紙ちぎり絵	21	22
23	24	25	26 生活相談	27	28	29

※ は、芳田の里ふれあい館の休館



《相談(人権・生活・教育など)》

芳田の里ふれあい館では、毎週水曜日に相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

《図書》

人権、一般小説、趣味の本・絵本などの閲覧・貸出を行っています。お気軽にご利用ください。

編集後記

■今年の「土用の丑の日」は7月26日でした。物価が高騰する中、多くの日用品や食料品が日々値上がりしています。そのような中、先日テレビから今年のうなぎはお手頃という嬉しいニュースが流れていました。土用の丑の日、多くのお宅でうなぎのかば焼きやうなぎを召し上がったことでしょう。さて、うなぎのかば焼きには関西と関東で大きな違いがあります。関西では「腹を割って話す」という商人らしい発想から腹開きが主流となり、一方、武士の社会が中心の関東では切腹のイメージを嫌うため背開きになったとされています。また、関東ではうなぎを一度蒸した後、あっさり目のタレでかば焼きにするそうです。8月に入りまだまだ猛暑が続いています。水分の補給とともに“うなぎを食べて夏バテをやっつけましょう”。■8月は「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間です。今年は、8月4日茜が丘複合施設Miraiにて、重春・芳田地区合同で開催されます。皆さんお誘いあわせの上ご参加ください。